

全国下水処理事業【マレーシア】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 平成 22 年 3 月

1. 案件概要	
(1) 供与国名	マレーシア
(2) 案件名	全国下水処理事業
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>下水処理場及び汚泥処理場等関連設備を建設し, マレーシアの全国的な公衆衛生環境の改善を図ると共に自然環境の保全を図るもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設工事 ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日:平成 12 年3月 31 日 イ 供与限度額:484.89 億円 ウ 金利:0.75% エ 償還(据置)期間:40(10)年 オ 調達条件:一般アンタイト</p>
2. 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会的ニーズの現状</p> <p>マレーシアは, 1999 年に政府予算で大規模下水処理施設, 汚泥処理場を建設することを決定し, 本事業は先方政府の政策を受け, 全国 13 箇所の下水・汚水処理場の建設を支援するもの。</p> <p>事業効果として, 下水道施設普及率(下水道及び浄化槽への人口普及率)の上昇, 及び河川の水質改善が期待される。</p> <p>1998 年 下水道施設普及率 38.8% (下水道 21.3%, 浄化槽 17.5%)</p> <p>事業完了後の下水道普及率 51.4% (下水道 27%, 浄化槽 24.4%)</p>

	<p>本事業の完成後、後続事業として先方政府により更なる下水処理場の建設が計画されており、当該事業の必要性は引き続き高い。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状 調達手続き及び一部設計見直しに伴い遅延したものの、遅延要因は解消済みであり、現在事業は順調に進捗している。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>事業完成後は当初の見込み通りの効果が見込まれる他、事業の進捗を妨げていた要因は既に解決し、現在貸付の最終段階にある。</p>
<p>3. 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anzen/zyoukyou.html) ・国際協力機構の案件一覧 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・国際協力機構のプレスリリース (http://www.jica.go.jp/press/index.html) ・国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/oda_loan/before/index.html) ・その他国際協力機構から提出された資料